

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業
実社会対応プログラム（研究テーマ公募型研究テーマ）
評価用研究成果報告書

課題		課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業			
研究テーマ名		多世代協働による生活支援モデルの開発と社会実装に向けた研究			
研究代表者	所属機関	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター			
	部局	社会参加と地域保健研究チーム			
	役職	研究部長	氏名	藤原 佳典	
委託研究費		単位：千円			
平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
2,390	4,210	3,030	1,600		

1. 研究の概要

研究目的、研究内容、成果や波及効果等、実施した研究の概要について、簡潔に記述してください。

本研究は、子育て支援で先進モデルを有する(株)AsMama のシステムを基盤に開発された Web マッチングシステム「よりあい」を通して、子育てや簡易な高齢者の生活支援サービス（ゴミ出し、買い物代行、家事支援等）の授受に関するやり取りを顔見知りの会員間で直接に行う多世代型互助モデルを開発・実装する。特に Web 操作が困難と思われる後期高齢者や虚弱高齢者を対象に、地域人材（主に常設型多世代交流サロンのスタッフ）が「よりあい」の操作代行等で仲介する Web・アナログ併用方式による多世代型互助モデルを開発する。あわせて、虚弱高齢者等、多様な高齢者が多世代住民間の互助コミュニティに参画するには地域包括支援センター（以降、地域包括）等、専門職と地域人材との効率的な連携が不可欠である。そこで、地域包括が、高齢者の社会参加活動や生活支援サービスに関する情報を蓄積・管理・検索できる Web システム「地域資源見える化サイト「ミルモネット」」を開発する。それにより、多世代で支え合う仕掛け（互助モデル）とそれを地域で有機的に機能させるツールの提示が可能となる。以上より、次の【1】【2】の二つの研究開発を行った。

【1】多世代間互助モデルの開発：東京都大田区入新井地区に開設した常設の多世代交流サロンを助け合い拠点とし、多様な多世代交流イベントや講座を通じた交流プログラムを実施した。その上で、これら多世代交流プログラムと同拠点での日常的な交流に基づく「よりあい」を活用した互助を促した。しかし、交流プログラムと拠点利用から直接的に互助に繋げることは困難であった。そこで、拠点利用者や交流プログラム参加者を対象に、多世代共助を目的とした「よりあい交流会」を平成 29 年 10 月～平成 30 年 6 月まで開催し（全 14 回）、「よりあい」登録と交流会参加者間での互助を促した。その結果、26 件の多世代住民間互助に繋がった。本研究により都市部にて、多世代住民間の互助を促す拠点や交流会の運営方法、コーディネーターを介さない住民間互助の促進要因と阻害要因が明らかになった。

【2】地域資源見える化サイトの開発：平成 30 年 8 月末に「第 1 版ミルモネット」が大田区にて稼働する。本サイトの特色として、開発時から主な利用者となる地域包括職員とサイトに必要な機能や仕様を議論しながら創りあげたためユーザー目線で利用しやすい。加えて、行政の協力を得て開発したことにより、地域包括に地域の介護保険内・外の様々な地域資源（生活支援サービスや社会参加活動等）がミルモネットに一元的に集約・管理される仕組みづくりも合わせて推進することができた。